

会誌「比較内分泌学」投稿要領

投稿に際しての要領、注意点が鍋織されています。投稿前に必ずお読みください。

本誌は、日本比較内分泌学会の会誌です。会誌の発行は年3回(5、9月、1月末)で、記事は、学会カレンダー、新しい内分泌現象、トピックス、博士論文レビュー、原著論文紹介、テクニカルノート、エッセイ、学会印象記、研究室紹介、会員の広場、おしらせ、その他(書評など)で構成されています。

1. 次号に掲載希望の場合、発行の1カ月前までに原稿を投稿してください。
2. 研究成果の発表のための原著、短報は原則として掲載しません。General and Comparative Endocrinologyなどの他の専門誌へ投稿して下さい。
3. 投稿原稿の採用については、日本比較内分泌学 学術誌編集委員会で査読し決定します。
4. 本誌に掲載された記事を複写したい方は、(社)日本復写権センターと包話復写許諾契約を締結されている企業の従業員以外は、著作権者から復写権等の行使の委託を受けている次の団体から許諾を受けてください。著作権は、日本比較内分泌学会に帰属します。なお、著作権の転載・翻訳のような複写以外の許諾は直後本会へご連絡して下さい。

・学協会著作権協議会

〒107-0052 東京都港区赤坂 9-6-41 乃木坂ビル 学術著作権協会

Tel:03-3475-5618 Fax:03-3475-5619

E-mail: kammori@msh.biglobe .ne.jp

・アメリカ合衆国における複写については以下に連絡して下さい。

Copyright Clearance Center Inc.

222 Rosewood Drive, Danvers MA 01923, USA

Tel: +1-(978)750-8400 Fax: +1-(978)750-4744 Web: www.copyright.com

5. 投稿の図はカラーも許可します。本文中の図は写真も含め全て白黒としますが、Web 上での掲載はカラーとなります。
6. 掲載料については、寄稿や記事の掲載に著者負担はありません。
7. 原稿の送り先
比較内分泌学 学術誌編集委員からの依頼原稿は当該委員へ Email で送ってください。
その他の原稿の送付先は
〒565-8565 大阪府吹田市藤白台 5-7-1
国立循環器病研究センター研究所 生化学部 海谷啓之宛
E-mail: kaiya@ncvc.go.jp Tel:06-6833-5004(ダイヤルイン 2458)
8. 著者によるゲラの校正は1回のみ行ないます。印刷所から著名宛に E-mail で初校が送られますので、校正して印刷所へ自身で返送して下さい。
9. 投稿に際しては、以下の執筆要領に従ってください。

執筆要領

2015年1月改訂

1. 原稿は、すべてワープロソフト（Word、一太郎など）を使用する。フォントは12ポイントで、タイトル、サブタイトルはゴシック体、本文は明朝体、英数字はTimesを使用する。左寄せで打ち、特殊なコマンドは使用しない。
2. 本誌の刷り上がり1頁は、25字×53行×2段=2650字の分量に対応する。校正依頼などに必要なので、FAX、TEL、メールアドレスを投稿時に学術誌編集委員まで知らせる。
3. **原稿の書き方**は以下のようにする。
 - 1) 最初の頁の上段に、表題と著者名（所属）、E-mail addressを書く。
 - 2) 本文に節を設ける場合、1. ○○、2. ○○、3. ○○、4. ○○などをつけて節を示す。節の見出しは簡潔にする。
 - 3) 文字はなるべく常用漢字と新仮名使いとする。
 - 4) 術語、物質名などは、できる限り日本語で表し、必要に応じてその原語を（ ）で示す。ただし、略号についてはそのまま用いる。
(例) アルドステロン (Ald)、cAMP
 - 5) 生物名は、片仮名書きの和名で表し、必要に応じて初出時に学名を（ ）で示す。学名は斜体（イタリック体）とする。
(例) ウシガエル (*Rana catesbeiana*)
 - 6) 人名は、姓の原綴りで示す。
(例) 小林は (例) Gorbman と Bern は、
 - 7) 原則として国際単位 (SI) 記号、化学記号、数学記号は立体、量記号は斜体とする。(例) h cm、A、 x g、H₂O、 $\sin x$
 - 8) 数字は、原則としてアラビア数字を用いる。ただし、漢字と結合して名称を表すものは漢字とする。
(例) 1つ、2~3時間、50個、数十個、一例
 - 9) 文献の記載方法
参考文献は、本文の出現順に並べ、1から順に通し番号をつけて文末にまとめる。本文中での引用箇所には、通し番号は英数字ならびに括弧で作製し、右肩に「上付き文字として」示す（表示は下記の例を参照）。著者名を引用する場合、3名以上の連名のときは“ら”あるいは“et al.”とする。
(例) (連続の場合) 小林らによると¹⁻⁴⁾、(飛んでいる場合) …である^{5,8,10)}。
 - 10) 文末の参考文献の記載は、次のようにする。著者が連名の場合でも省略せず、全員の名前を記載する。
[雑誌] 通し番号) 著者名, 雑誌名(省略形), 巻(ボールド), ページ, 発行年.
[書籍] 通し番号) 著者名, 書名, 出版社, ページ, 発行年.
(例) 1) Bern AH, Gorbman A, Kobayashi H, Tsutsui K, Takei Y. Gen Comp Endocrinol, **110**, 125-138. (2007).
2) 川島誠一郎、内分泌学、朝倉書店、pp. 6-7. (1993).
3) Kawashima S, Comparative Endocrinology, Zoophysiology, vol. 1.

Springer-Verlag, Berlin, pp. 10-25. (1993).

- 12) 表は簡潔な標題と必要な説明をつけて、本文とは別に作成する。
 - 13) 図は1枚の刷り上がりの大きさは6.5 cm (横) か、14.0 cm (横) となるように縦寸法とのバランスを考慮して作成する。図のデータフォーマットは TIFF、EPS、PDF、PPT、gif、jpg、ai 形式が望ましい。刷り上りの解像度 (縮小する場合は、解像度 = 縮小率 X \cdot dpi) は、写真はグレースケール 256 階調、300 dpi 以上、線画はモノクロ 2 値で 1200 dpi 程度とする。
 - 14) 図には必ず簡潔な標題をつける。図の標題と説明は、図面原稿とは別紙にまとめて書く。
 - 15) 図および表の表示は、出現順に図 1、図 2、表 1、表 2、のように通し番号で行う。本文中では「赤字」で指示する。
 - 16) 図および表を文献から引用した場合は、引用を明記するとともに、引用の許可が必要な場合には、著者の責任で出版会社から許可 (copyright) を取っておく。
4. **表紙絵** 投稿された記事の中から、本誌の表紙に写真や模式図などを1枚掲載する。
 5. **学会カレンダー** 本学会に関連のある国内外関連大会に関するカレンダーを掲載する。庶務幹事、学術誌編集委員だけでなく会員から連絡のあったものも掲載する。
 6. **新しい内分泌現象 (総説)** 比較内分泌学および関連分野において新規のホルモンの生物学、あるいは旧学説を塗り替えるような内分泌現象等、学術誌編集委員が原稿を依頼、または投稿された総説などを掲載する。字数 1 万字程度、図表は 5 枚程度とする。
 7. **トピックス (ミニ総説)** 比較内分泌学あるいは関連分野における最近の目立った研究成果や学会で注目された記事を掲載する。字数 2000~6000 字程度、図表は 3 枚程度とする。
 8. **博士論文レビュー** 学位取得後間もない研究者が博士論文の内容を要約したものを掲載する。字数 5000~1 万字程度、図表は 5 枚程度とする。
 9. **原著論文紹介** 最新の研究成果を公表した原著論文の内容を要約したものを掲載する。字数 800~2000 字程度、図表は 3 枚程度とする。
 10. **テクニカルノート** 会員に知って欲しい、あるいは役立つと思われる情報、実験方法、教材あるいは意見の提供を掲載する。字数 1000~3000 字程度、図表は 1 枚程度。
 11. **エッセイ** 研究活動の思い出や留学などで滞在した研究室、あるいは海外調査や見聞の紹介記事を掲載する。できれば写真を添付していただきたい。「フォトエッセイ」として、視覚的に紹介できる実験結果や傑作の顕微鏡写真の紹介、希少な実験動物の紹介などを掲載する。字数 5000 字程度、写真は 2 枚程度まで。
 12. **学会印象記** 国内外の学術集会の紹介記事を掲載する。教員、ポスドク、大学院生や学部生などの広く会員からの投稿を歓迎する。字数 1000 字程度、写真 1 枚。
 13. **研究室紹介** 研究室や研究グループの紹介記事。研究現場のスナップ等の写真を少なくとも 1 枚添付する。本文の最後に写真の標題と説明を表記する。字数 1000~2000 字程度、写真 1 枚程度。
 14. **会員の広場** 日本比較内分泌学会の幹事会報告のほか、関連のある学術集会の案内などを掲載する。その他 (書評、追悼文など) テーマを限らず、会員の自由な意見を随時掲載する。

